

令和7年度第4回大野市総合計画・総合戦略推進会議 議事概要

日時：1月28日（水）午前10時～11時15分

場所：結とびあ302

◆出席者 委員 13名（欠席者8名）
加藤行政経営部長、小林政策推進課長、政策推進課員（廣作、雨山）

◆次第

1 開会

本日、会長が体調不良により欠席となり、この場を借りて報告する。会長より、皆様にお詫びを申し上げてほしいとの伝言を受けており、この場でお伝えする。開会に当たり、竹田副会長より挨拶をお願いする。

2 会長挨拶（竹田副会長）

足元が大変悪い中、本日の会議にお集まりいただき、誠に感謝申し上げます。会長が体調不良ということで、急遽、私の方で本日の会議を進行させていただく。

本日の議題は3点、1点目は、第六次大野市総合計画後期基本計画に関連する人口ビジョン案について、事務局から報告を受ける。2点目は、第3期大野市総合戦略の素案についてであり、総合戦略は推進会議において策定することとなっているため、事務局が取りまとめた素案について意見をいただきたい。3点目は、令和8年度の推進会議の取組内容及び進め方について、事務局方針に対し協議したい。

3 議事

（1）人口ビジョン（令和7年度改訂版）（案）について

概要： 資料1、2に基づき事務局説明

資料1により後期基本計画等策定スケジュールを確認。赤色部分が総合戦略及び人口ビジョン、青色部分が後期基本計画の策定。後期基本計画は1月9日に審議会から答申を受け、1月22日に庁議決定を行った。国の総合戦略は昨年12月23日に示された。これを踏まえ、各自治体が総合戦略を策定等する必要がある。総合戦略は3月末の策定を目指している。

資料2、大野市人口ビジョン令和7年度改訂版案の説明。一章は基本的考え方と目標人口、二章から六章は人口の現状と将来見通し、七章は人口の将来展望である。

4ページ目、背景と目的では、国の地方創生の新たな方向性を踏まえ、地

方創生・人口減少対策に戦略的に取り組むため人口ビジョンを改定し、第3期総合戦略を策定することとしている。

5ページ目、位置付けでは、人口ビジョンは地方版総合戦略策定の基礎資料であり、第六次大野市総合計画の目標人口を示すものとしている。対象期間は2050年までとし、改訂前から5年間延長している。

7ページ目、総合計画の目標人口は2030年に26,300人とするものであり、前期基本計画から1,000人下方修正している。

53ページ目、人口の将来展望では、合計特殊出生率を2050年までに1.65まで段階的に引き上げる想定としている。社会増減では25歳から44歳までの流出改善、特に女性の改善率を高く設定している。

52ページ目、人口に関する分析のまとめについて、市域の総人口は1955年以降減少しており、地区別では全地区で人口減少と高齢化が進行している。1991年以降、出生数を死亡数が上回る自然減が継続している。一方で、近年、出生数は110人、116人、119人と微増している。未婚率は県平均を上回っている。社会減が続いており、通勤者数と転出数には相関が見られる。

54ページ目では、2050年の将来人口を18,100人とした。そこから逆算して各年の目標となる人口を設定している。

質 疑：

委員 52ページの人口に関する分析のまとめについて、説明の中では参照ページの紹介があったが、根拠となるページについて参照ページがわかるよう入れた方が良い。

事務局 意見を踏まえ修正を検討する。

委員 出生数がここ3年の間で110人、116人、119人と、少しずつ上向いている。これが限界だと考えず、さらに伸ばせるよう取り組んでほしい。また、2人目、3人目の子どもを持つ世帯の割合が増えてきているという点も非常に印象に残った。これまでの子育て施策の取組の成果が出てきているのではないかと思う。こうした成果をしっかりとPRしていくことが重要である。

委員 出生数が増えるためには結婚が進まなければならない。未婚率のグラフを見ると、大野市は県平均より高い。2020年までのデータしかないが、それ以降はどうなっているのか教えてほしい。

事務局 データは国勢調査によるもので、昨年10月に行われた最新の調査結果が公表されていないため、現時点では不明である。

委員 結婚についても、皆で考えていく必要があると思う。

事務局 結婚に関連する取組について、令和7年度から若者が集まり意見交換する取組を行っている。後期基本計画の策定に向けて行った地区別意見交換会でも、出生数の改善には結婚が重要であるとの意見があった。結婚の良さを家庭や地域で伝えていくことが必要と考える。皆様も周囲で伝えていた

だけるとありがたい。

委員 東京や大阪、名古屋で商談会に参加しているが、大野市はまだ知られていない。雪があっても除雪が行き届き、とても住みやすいところである。もし大野で暮らすならこんな特典がある、という資料を用意していただき、一緒にPRしたい。姉妹都市の古河市から大野に移住された方の話も聞いた。一度来て良さを分かってもらえれば伝わると思う。優遇措置や暮らしやすさを訴える資料をいただければ、PRに協力したい。

事務局 市としても強く訴えていきたい。移住施策については、SNSや動画配信を行っており、これを見た方からパンフレット請求などの反応があると聞いている。ホームページ等で確認できるので、委員の皆さんにもPRに協力してほしい。国全体で人口が減少する中、市町村間の競争が激化している現状がある。その中で選ばれるよう努めたい。

また、先ほどの出生数については、人口ビジョン7ページで、2045年の出生数を96人と想定している。合計特殊出生率を1.51から1.65に改善する想定であり、女性や若者に選ばれる施策を進めることで、出生数の上昇を図りたい。

竹田副会長 意見については、取り入れられるものは取り入れていただき、市として人口ビジョンの改訂版を取りまとめいただきたい。

(2) 第3期大野市総合戦略（素案）について

概要： 資料3に基づき事務局説明

資料3が第3期大野市総合戦略の素案で、総合戦略は地方創生・人口減少対策に特化した計画であり、策定に当たっては国・県の総合戦略を勘案する必要がある。

参考資料は国の総合戦略の概要版で、12月23日に取りまとめられたもの。なお、国は総合戦略をベースとし、特に経済分野に特化した「地域未来戦略」を今夏までに策定する方針で、いわば2階建ての構成で地方創生を進めていく模様。国の政策目標は、「強い経済」、「豊かな生活環境」、「選ばれる地方」の3点であり、これを踏まえ市の総合戦略の素案を作成した。国の方針発表から1か月程度しか経過しておらず、急ピッチで取りまとめた素案であることを了承いただきたい。

資料3の目次では、基本的な考え方、将来像と基本目標、総合戦略の体系、基本目標別の施策・指標で構成している。

1ページ目、背景と目的は人口ビジョンと同様の文言である。

2ページ目、総合計画との関係では、総合戦略は、総合計画のうち地方創生・人口減少対策に特化した計画として位置付けている。期間は後期基本計画と同じく5年間とする。

3ページ目、目指すべき将来像は総合計画と同様に「人がつながり、地域がつながる、住み続けたい結のまち」としている。戦略推進の基本方針として、人口維持増加策と人口減少適応策を両面から総合的に進める。

4 ページ目、基本目標は3つ、基本目標1は「稼ぐ力を育み、持続的に広がる地域経済の循環」、基本目標2は「安心して住み続けられる生活環境の充実」、基本目標3は「一人一人が輝き、つながりが広がる地域社会の形成」としている。国の総合戦略に沿った構成としている。

5 ページ目は、総合戦略の体系図であり、総合計画との関係、基本目標、基本施策の方向性、後期基本計画と同様にSDGs等の横断的な視点を整理している。

6 ページ目は、総合計画の施策と総合戦略基本目標との対応一覧である。

7 ページ以降は、基本目標ごとに具体的な施策と、数値目標や重要業績評価指標（KPI）を設定している。記載する施策は、後期基本計画に位置付けられた施策のうち、地方創生・人口減少対策に資するものを抜粋している。これらは今後精査していく中で変更する可能性がある。

質 疑：

委員 ウェルビーイングの専門部会ができるということで、注目しながら、進めていただきたい。

委員 保育園や小学校くらいのこどもを持つ保護者団体の事務局をしている。人口ビジョンと総合戦略を改めて見ると、本当に危機的な状況だと感じる。このまま人口が減り続けたら大野市は存続できるのかという不安すら感じる。雪は多いものの、福井市から来た方に、大野市の方が道路事情が良いと言われ、強みもあると感じた。賃金が低いという事実はあるが、その中で大野市で働く魅力、住む魅力をもっと打ち出せると良いと思う。大野市で暮らすとこんな良いことがある、と思えるようにしないといけない。改めて大野市の魅力を考える必要があると強く感じた。

事務局 大野市の強みについて、人口ビジョンの中で、10歳未満の子どもの流入は増えていることから、家族単位で移住してきていると考える。近年、移住世帯数は増えており、子育てにやさしい環境であることをPRしてきた成果と考えている。今後は、移住者だけでなく、住んでいる方が住み続けたいと思えるよう、稼ぐ力や地域経済、賃金の問題にも取り組む必要がある。後期基本計画ではウェルビーイングの向上に向けて取り組み、総合戦略と合わせて進めていきたい。

竹田副会長 非常に大事な視点である。総合戦略がうまく機能すれば、大野市の魅力向上につながり、人口減少を緩やかにできるのではないかと考える。

委員 女性の転出が多いという説明やグラフがあったが、結婚による転出も含まれているのであれば、どうしても女性の転出が多く見えるのではないかと。女性にお嫁さんとして来てもらえるような大野市になると良い。

事務局 結婚による転出も含まれている。女性の働く場を確保し、結婚後も住み続けられる環境づくりが求められているように考える。雇用の創出は行政だけでは難しいところもあるが、企業誘致などを進めていきたい。出生数は微増しており、少しでも増やせるよう取り組んでいきたい。先ほども申し上げたが、人口の維持増加策と減少適応策、その両面から総合的に取組を

進め、住み続けられる大野市になるように努めていきたい。

委員 9ページの数値目標について、道の駅越前おおの荒島の郷の売上だけで良いか。まちなか観光や結楽座なども含めた指標が良いのではないか。数字を拾い上げることが難しいようにも考えるが。

事務局 まちなか観光の売上などを含めることは理想ではあるが、確実に把握できる指標として道の駅の売上を設定している。道の駅の集客力は非常に高く、重要な場所、代表的な地点として指標にしている。

竹田副会長 道の駅とまちなか観光について、相関関係などが見えるとより良いかもしれない。

事務局 道の駅からまちなかへ人を呼び込む取組を、観光業や商工業の関係者と連携して進めていく。

竹田副会長 意見については、取り入れられるものは検討いただき、今後の修正に関しては会長に一任させていただき、3月末の策定に向けて内容を詰めていきたいと考える。この進め方でよろしいか。賛成の方は挙手をお願いしたい。

結 果： 承認（全員挙手）

竹田副会長 今後の修正等は、会長に一任するというので、進めていく。

（3）令和8年度の大野市総合計画・総合戦略推進会議について

概 要： 資料4に基づき事務局説明

令和8年度の推進会議の進め方は、1点目は、推進会議の事務は総合計画と総合戦略の進捗状況と効果の検証であり、令和8年度は、7年度の施策評価と、8年度施策の進捗状況の確認などを行う。

2点目は、後期基本計画から行政改革に関する進捗管理を施策評価の中で併せて行うこととしている。これに伴い、①推進会議の要綱を一部改正し、所掌事務の中に行政改革に関することを追加したい。また、②推進会議に委員の追加を考えており、中小企業診断士など2名を追加したい。なお、行政改革に関する進捗管理を加えることに伴い、施策評価の事務が著しく増えるといったことは想定していない。

3点目は、専門部会としてウェルビーイング部会を設けて、ウェルビーイングに関する、例えば市民アンケートの設問内容や調査結果の検証、可能であれば施策への提言などに取り組んでいきたい。部会のメンバーは時々テーマによると考えるが、推進会議委員の中から、例えば5人、6人に参加をお願いさせていただき、部会メンバーになっていただきたい。また、資料には無いものの、行政だけでは不安な面もあり、ウェルビーイングに関する学識経験者の方にアドバイザーになっていただくことも考えている。

最後に4点目、本日も集まりの皆さんの任期は今年の3月31日までとなっている。改めて、次期委員の推薦を依頼させていただくので、ご協力をお願いしたい。次期委員の任期は2年間を想定している。

質 疑：

- 委員 次期委員の推薦に関して、来年度の年間スケジュールについて大体でいいので教えてほしい。次の方が想定できる。
- 事務局 資料1のスケジュールをご覧いただきたい。令和8年度は、6月下旬に第1回、8月初旬に第2回、10月下旬に第3回の推進会議を予定している。その間に、7月頃に1回目の専門部会、9月に市民アンケートを実施し、10月に2回目の専門部会を考えている。
- 竹田副会長 それでは、事務局から説明のあった方針に基づき、令和8年度の推進会議を進めていきたいので、引き続き協力をお願いしたい。

その他

- 事務局 後期基本計画の開始に合わせ、市民向けにウェルビーイングの考え方や後期基本計画の内容を説明する講演会・説明会を、4月から5月頃に実施できないか検討している。固まり次第、案内するので参加への協力をお願いしたい。
- 竹田副会長 大切な機会になると思うので、ぜひ周囲にも声をかけてほしい。

閉会（竹田副会長）

本日は足元の悪い中、長時間にわたり参加いただき感謝する。非常に重要な会議であり、良い意見が多く出た。ここで終わりではなく、ここから皆さんとともに大野市をつくっていくことが大切である。引き続き力添えをお願いしたい。

雪も多く、疲れが出やすい時期であるので、体調に留意していただきたい。

◆会議資料

次第

大野市総合計画・総合戦略推進会議委員名簿

資料1：第六次大野市総合計画後期基本計画等策定スケジュール

資料2：大野市人口ビジョン（令和7年度改訂版）（案）

資料3：第3期大野市総合戦略（素案）

資料4：令和8年度大野市総合計画・総合戦略推進会議について

参考資料：地方創生に関する総合戦略